

歩いて暮らせるまち“そね”みちづくりプロジェクト  
報 告 書

概要版

平成 17 年 3 月

歩いて暮らせるまち“そね”  
みちづくりプロジェクト実行委員会

## はじめに

曽根西町、原田元町は、曽根駅周辺の商業地区とその西側に広がる閑静な住宅地で構成され、地区内には信号機が1基もなく、車・自転車・歩行者が混在して通行しており、いつ事故が起きても不思議ではない状況です。

そこで、安心して歩けるまちを目指して、「みち」に関する取り組みを続けてきました。2003年にはくらしのみちゾーンに登録され、国土交通省、大阪府、豊中市の支援を受けながら、「みちづくり」を進めています。

そして、考えられる解決策を期間限定で「交通社会実験」および地域の方などにアンケート調査を実施しました。本資料は交通社会実験の効果を把握し、問題点を明確にすることで今後のみちづくりに対する取り組みについて検討するものです。

### くらしのみちゾーン

地域の住民と行政が協働することにより、身近にある道路を歩行者や自転車の安全を守ろうと国土交通省では「くらしのみちゾーン」という取り組みが行われています。登録されると、専門家の派遣や交通社会実験の実施などの支援を受けることができます。

### 歩いて暮らせるまち“そね”みちづくりプロジェクト実行委員会

委員長：永田嘉朗（原田校区福祉委員会会長） 副委員長：田邊昭夫（原田公民分館分館長）

構成組織：原田校区福祉委員会、原田公民分館、原田日赤防犯連合分団、原田小学校・同PTA原田保育所・同保護者会、曽根西二丁目自治会、曽根西町三丁目自治会、原田自治会、原田元町二丁目自治会、民生委員、曽根商店街振興組合、まちづくり協議会そね21の会、大阪府、豊中市

協力：国土交通省近畿地方整備局、豊中警察署、豊中・池田ケーブルネット(株)

事務局：まちづくり協議会そね21の会、豊中市政策推進部まちづくり支援課

## 目次

1. 「歩いて暮らせるまち“そね”みちづくりプロジェクト」 交通社会実験概要 .....	1
2. 実査データ分析結果 .....	2
3. アンケート調査結果 .....	18
4. 交通社会実験の評価と今後の課題（案） .....	28
5. 今後の対応方策案 .....	32

# 1. 「歩いて暮らせるまち “そね” みちづくりプロジェクト」交通社会実験の概要

## (1) 交通社会実験期間

平成 16 年 11 月 4 日 (木) ~ 7 日 (日)

## (2) 交通規制実験内容

- ・ 一方通行 (延長約 110m) : 平成 16 年 11 月 4 日 ~ 6 日 (7 : 00 ~ 19 : 00)
- ・ 通行止め (延長約 80m) : 平成 16 年 11 月 7 日 (10 : 00 ~ 19 : 00)

## (3) 交通社会実験区間

